第２回資本ストック検討委員会（議事要旨）

1. 日　時　平成17年3月28日(月） 13:30～16:05

2. 場　所　中央合同庁舎第4号館共用第4特別会議室(406号室)

3.出席者

(委員)

高木委員長、井出委員、時子山委員、中村委員、野村委員、宮川委員

(経済社会総合研究所)

香西所長、大守次長、荒井総括政策研究官、法専総括政策研究官、杉田総務部長、飛田国民経済計算部長、大貫企画調査課長、長谷川国民支出課長、甘利国民生産課長、百瀬分配所得課長、二上国民資産課長、川島価格分析課長

4. 議　事

（1） Turn the Tables! Reframing Measurement of Capital in Japanese National Accounts

（2） 民間企業資本ストック推計上の問題点について

5. 配布資料

資料1　Turn the Tables! Reframing Measurement of Capital in Japanese National Accounts

資料2　民間企業資本ストック推計上の問題点

第1回資本ストック検討委員会　議事録

6.議事概要

「資料１」に基づき野村委員から説明。主な内容は次のとおり。

・伝統的なストック概念に対して、「粗資本ストック」、「生産的資本ストック」、「純資本ストック」という３つのストック概念。その測定の具体的なプロセスにおける「経齢的効率性プロファイル」、「経齢的価格プロファイル」、資本の効率性と価値の分布パターン。
・幾何分布、ハイパーボリック型の分布パターンについて。
・資本ストックの年次化（資本サービス価格）の概念及び測定方法。
・生産的資本ストックとしての「土地ストック」の測定の重要性。
・無形固定資産のうちコンピューター・ソフトウェアの測定範囲拡大の必要性。
・資本サービス・コスト測定について、「非市場生産」への範囲拡大。
・以上に照らして、日本のストック統計が抱える課題と優先順位。

野村委員の説明に基づき、次の議論、問題提起がなされた。
・「資本の効率性と価値の分布パターン」に関し、ヘドニック法も含め、「技術進歩」、「経齢的劣化」等による品質調整の測定について。
・「土地」は、SNA の概念定義では、「非生産資産」であり、「生産的資本ストック」として SNA 体系と整合させるのは、困難な問題である。

議事２は、次回以降で討議予定。

以上

※なお、本議事要旨は速報版のため事後修正の可能性があります。